とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング															
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	行動規範に「一人ひとりの多様性・人格・個性を尊重し、安心できる職場環境を守ります」「基本的な人権を尊重し、あらゆる差別を許しません。」と掲げており、入社時と毎年定期的に全役社員を対象とした人権研修を実施し、人権に対する意識を高める取り組みを行っている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	全役社員対象に毎年研修を実施するとともに、違法・不正行為を未然に防ぎ、または早期に発見することにより、職場環境をより健全なものにすることを目指した内部通報体制のもと、「日興アラーム」、「違法・不正相談窓口」、「ハラスメント相談窓口」が設置されている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	時間外労働月80時間超の原則禁止、週1日以上の早帰りの奨励等社内ルールを定め、労働時間の削減に努めるとともに、毎月1日以上の計画的な休暇取得や年2回の連続休暇の取得等、積極的に休暇を取得するよう奨励している								8.5 8.8									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	外国人労働者とのコミュニケーション機会を拡大するために社内ホームページにおいてグローバル関連サイトを構築。相互理解を進めるとともに、外国人労働者への適切な処遇、職場環境づくりを行っている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	労働安全衛生法および保健衛生規程に基づき、社員の保健衛生に関する業務の管理を行うため各職場に衛生管理者、衛生推進者を設置。社内ホームページやメール等を活用し周知徹底を図っている			3					8									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	セルフケアの推進およびメンタル不調者の早期対応のため、定期的にメンタルヘルチェックを実施するとともに、支店にメンタルヘルスサポーターを任命し配置。任命にあたっては、メンタルヘルスケアに関する基礎知識や相談対応などの研修を実施			3													
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	2013年7月、多様な価値観や属性を持つ人材が能力を最大限発揮できる職場環境づくりを目的として、「ダイバーシティ推進室」を設置。ダイバーシティに関連する企画・推進業務を集約し、より一層の施策浸透を図るとともに、多様な人材への支援を更に強化している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	社員の健康増進を経営課題の一つと捉え、社員とその家族の健康保持及び増進を図るため、2018年4月1日付で「健康経営宣言」を制定。また、人事担当役員をCHO（Chief Health Officer：健康管理責任者）に選任し、健康経営をより確かに推進する体制を整えている			3					8									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	従業員の能力開発等において、次のような各種研修体制を整備している。若手社員育成体系、若手教育期間のサポート体制、新人インストラクター制度・エリア担当トレーナー、OJT 支援、資格取得支援、トレーニー制度、グローバル人材育成、国内研修、オンライン研修、海外派遣など多数				4				8	9								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用									8.5		10.2 10.3							
11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	当社独自の環境マネジメントシステム推進体制において廃棄物の管理を適切に行い、とりわけノートPCやiPadなどのツール活用を推進することで、社内向け説明資料の印刷を原則禁止するなど紙使用量の削減に取り組んでいる											11.6	12.3 12.4 12.5		14.1			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	SMBCグループでは各社の環境負荷データを公表している https://www.smfg.co.jp/sustainability/report/data/#01 また、当社は「環境目標」として、2030年度における具体的な電力消費量の削減目標を設定している							7.3						13				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	SMBCグループでは各社の環境負荷データを公表している。またサステナビリティに関する長期計画「SMBC Group GREEN×GLOBE 2030」において、「SMBCグループが排出する温室効果ガスを2030年に実質ゼロ」 という目標を掲げ、取り組みを進めている							7.2 7.3					12.4	13.3				

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
14	環境	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	ISO14001の要求事項に対応した独自のEMS（Environmental Management System：環境マネジメントシステム）推進体制を構築し、環境に関する法規制その他の要求事項を遵守し、環境汚染の予防を図っている			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	ISO14001の要求事項に対応した独自のEMS（Environmental Management System：環境マネジメントシステム）推進体制を構築し、環境に関する法規制その他の要求事項を遵守し、生物多様性に配慮した活動を図っている						6.6									15		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用							6.4 6.6											
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	当社では、2001年4月に、環境マネジメントシステムの国際規格であるISO14001認証を業界で初めて取得。その後、外部機関による審査を通した認証登録を維持してきたが、2019年10月をもって認証登録を取下げ、ISO14001の要求事項に対応した独自のEMSを継続し、引き続き、環境への取組を推進している			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用	環境に関する情報開示（ディスクロージャー）の社会的システムとしての定着と充実は環境保全の観点から極めて重要との認識のもとに、環境方針をはじめとするＳＭＢＣ日興証券グループ各社の環境への取り組みについて、ホームページ上等で積極的に公開し、情報開示の充実に努めている												12.6					
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	№13の通り、SMBCグループは「SMBCグループが排出する温室効果ガスを2030年に実質ゼロ」 という目標を掲げているが、事業活動で使用する電力について、非化石証書活用による再生可能エネルギー由来電力への切替等の施策により、温室効果ガス排出量を削減することを基本としている							7.2						13				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用	オフィス用品等を購入する際に、環境を考慮し、必要性をよく考えたうえで、環境への負荷が出来るだけ少ないものを選んで購入するグリーン購入を推奨している												12.2	13	14	15		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	オフィスの省エネルギー・省資源、廃棄物のリサイクルの促進やグリーン購入の拡大に取り組んでいる						6.3					11.6	12 12.5	13	14	15		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	汚職・贈収賄防止を含む内容について、経営理念及び行動規範に基づき、「コンプライアンス・マニュアル」、及び「コンプライアンス規程」等を制定。全役社員に対し毎年研修を実施するなどして浸透を図っている																16 16.5	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	不正競争行為を含む内容について、経営理念及び行動規範に基づき、「コンプライアンス・マニュアル」、及び「コンプライアンス規程」等を制定。全役社員に対し毎年研修を実施するなどして浸透を図っている																16	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	知的財産不正競争行為を含む内容について、経営理念及び行動規範に基づき、「コンプライアンス・マニュアル」、及び「コンプライアンス規程」等を制定。全役社員に対し毎年研修を実施するなどして浸透を図っている								8.2 8.3	9								
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している		○		基本	「個人情報の保護に関する基本方針」を公表するとともに、役社員に対して毎年研修を実施するなど個人情報を適切に管理する体制を構築している																16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																	16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を公表し、お客さまにふさわしい商品・サービスの提供を行うための体制を整備している。また、従業員に対し適切な動機づけを図るため、「お客さま本位」の営業活動を促す業績評価体系の整備等誠実・公正な業務の遂行、職業倫理の向上に向けた取り組みの充実にも努めている			3.9									12.4					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	「お客さま本位の業務運営に関する基本方針」を公表し、お客さまにふさわしい商品・サービスの提供を行うための体制を整備している。また、従業員に対し適切な動機づけを図るため、「お客さま本位」の営業活動を促す業績評価体系の整備等誠実・公正な業務の遂行、職業倫理の向上に向けた取り組みの充実にも努めている									9								

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

	カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	SDGsのゴール・ターゲットのマッピング																
			環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
30	製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用	当社では、企業の社会や環境への取り組みや事業活動での影響を考慮して投資対象を決める「SRI（社会的責任投資）」に早くから取り組んできた。現在当社では、ESG関連投資信託とSDGs債の取り扱いを通じて環境・社会配慮型企業へ投資する機会を設け、環境・社会配慮型企業の活動を支援している					6						12	13	14	15		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用	当社では、企業の社会や環境への取り組みや事業活動での影響を考慮して投資対象を決める「SRI（社会的責任投資）」に早くから取り組んできた。現在当社では、ESG関連投資信託とSDGs債の取り扱いを通じて環境・社会配慮型企業へ投資する機会を設け、環境・社会配慮型企業の活動を支援している	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	お客さまや取引先との対話を通じて、当社事業の地域への影響等を把握するよう努め、地域社会への貢献のあり方について検討し、取り組みを実施している。「お客さまの声への対応方針」を定めるなどして、地域やお客さま本位の考え方にもとづく業務運営を徹底している				4					9		11	12		14	15		17
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	子どもたちの夏休み期間に、実体験型の社会学習プログラム、日興「家族でワクワク体験DAY」を2006年から全国の本支店で開催している。小学生とそのご家族がクイズや情報端末などを使った実体験、社員による講義などを通じて、経済やお金の流れ、金融機関の社会的役割などを楽しみながら学んでいただける内容になっている				4							11			14	15		17
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用	贈答品などに地域企業が生産する特産品などを選定して購入するようにしている								8	9		11	12	13				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している		○		基本	経営理念及び行動規範に基づき、「コンプライアンス・マニュアル」、及び「コンプライアンス規程」等を制定。全役社員に対し毎年研修を実施するなどして浸透を図っている																16	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	1918年の創業以来、経営理念を実現し、当社を取り巻く社会課題を解決することで持続可能な社会の実現に取り組んでいる。また、経営目標については定期的に部店長会議の情報などが社内で共有される仕組みを構築している								8	9		11						17
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	「コンプライアンス・マニュアル」、及び「コンプライアンス規程」等を制定。全役社員に対し毎年研修を実施するなどして浸透を図るとともに、内部通報制度に関する規程も整備している																16	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用	経営レベルで当社のサステナビリティについて議論するため、経営会議メンバーで構成されるサステナビリティ推進会議を設置している。また、サステナビリティを推進するための専門部署も設置している																16	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	各種リスク管理規程を整備する一方で、具体的な取組として、社内のサーベイを実施し、従業員のコンプライアンス意識やリスク感覚の実態を把握するとともに、社内研修を通じて、健全なリスクカルチャーの醸成に取り組んでいる																16	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用	2017年度に活動のよりどころとなる重要課題（マテリアリティ）を策定し、2020年度にはSMBCグループのサステナビリティ宣言などを踏まえ、より広範囲を対象に、かつ一体感を持ち取り組むことを目的にマテリアリティの見直しを行った																16	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用	「お客さまの声への対応方針」を定め、お客さまからお寄せいただいた声をもとに、より良いサポート・サービスの提供に努めている。また、他のステークホルダーに対しても日々の業務推進の中で適切に対応する体制を整備している																16	17
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	事業継続計画（BCP）を策定し、各部室店にBCP担当者を設置。安否確認のツールなどを導入し定期的な訓練を実施している									9		11		13 13.1			16	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用	当社親会社である株式会社三井住友フィナンシャルグループは組織形態として指名委員会等設置会社を採用。株主総会に提出する当社取締役の選任および解任に関する議案の内容を決定するほか、同社および主な子会社の役員人事や、同社社長および中核子会社の頭取・社長の後継者選定に関する事項等について審議する								8	9								17

様式3号

とちぎSDGｓ推進企業登録制度　SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 （県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。）	ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピング															
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1																						
2																						
3																						
4																						

【記載留意事項】
・ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。
（ＳＤＧｓのゴール・ターゲットのマッピングの整数はＳＤＧｓのゴール（例：７）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。
なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度　など）